

子どもと教職員の意欲あふれる学校づくりに向けて「芯の通った学校組織」は第3ステージへ

「芯の通った学校組織」の確立を目指した学校改革は、学校の組織的課題解決力を着実に高めてきました。これまで積み重ねた取組をより確かなものとし、「地域とともにある学校」への転換を図りつつ学校における働き方改革を達成する学校マネジメントを追求することで、本県教育の将来にわたる持続的・発展的な姿と、本県教育水準の更なる向上を目指します。【期間：令和2～4年度】

1 学校は変わってきている

- ▶ 学校マネジメント（組織・目標達成）の取組は浸透し成果に結果
- ▶ 第1・第2ステージで目指した姿に未到達の部分は取組を継続

〈小・中学校〉

体力面 >> 全国に誇れる水準まで向上
学力面 >> 全国平均を上回る水準まで向上

目指す姿に向かう取組の徹底・方法の改善が必要

2 環境が変わってきている

- ▶ 子ども・家庭が抱える問題の複雑化・多様化
- ▶ 全国的な人材確保難、学校現場の世代交代の加速
- ▶ 働き方改革関連法の成立、教員の長時間労働が社会問題化
- ▶ 学習指導要領の改訂（「社会に開かれた教育課程」）
- ▶ 県内学校におけるコミュニティ・スクール（CS）導入の進展

教員が子どもと向き合う時間を確保する「学校における働き方改革」の推進が必要

学校と家庭・地域が目標を共有し、目標達成に向けて協働する「地域とともにある学校」への転換が必要

3 第3ステージの方向性

子どもの学びのために、パフォーマンスを最大化
学校における働き方改革 × 地域とともにある学校

POINT③ 学校マネジメントの深化（カリキュラム・マネジメントの充実）

学校の目標達成・組織マネジメント、教育課程に基づき組織的・計画的に教育活動の質の向上を図るカリキュラム・マネジメント、教育活動の質の向上や学校行事の精選など家庭・地域と協働して行う学校における働き方改革を進めるため、「学校評価の4点セット」の検証・改善を実施。

- ▶ 育成を目指す資質・能力と明確に対応した学校の教育目標と重点目標、これと連動した達成指標・重点的取組・取組指標の設定、学校内外との共通理解
- ▶ 検証結果を教育課程に反映しつつ行う短期及び年度を跨いだPDCAサイクル
- ▶ 主任等によるミドル・アッパーダウン・マネジメントの実践と校務環境の整備
- ▶ 管理職の役割は「家庭・地域との協働」を含めたマネジメント

POINT④ 「チーム学校」の取組を継続・発展

- ▶ 専門スタッフ等を活用した専門性に基づくチーム体制の構築
- ▶ 少数職種がチームで活躍する校内体制の推進と実践的な研修の設定

POINT⑤ 学校における働き方改革の推進

- ▶ 「学校評価の4点セット」の重点目標に働き方改革の項目を追加
- ▶ 効率的な学校運営に向けた会議の持ち方・校務分掌・行事の見直し
- ▶ 組織的な指導・運営による部活動改革及びICTを活用した業務改善

POINT⑥ 「地域とともにある学校」への転換（目標協働達成）

- ▶ 家庭・地域と、学校の教育目標と「学校評価の4点セット」を共有
- ▶ 目標協働達成に向けた学校運営協議会等の活用
- ▶ 行事の精選・見直し（学校・家庭・地域の負担軽減、役割分担の見直し）

POINT⑦ 学校規模に応じた学校マネジメントを検証

- ▶ 運営委員会やミドル・アッパーダウン・マネジメントの実地検証